

社団法人 地盤工学会
平成22年度第4回技術普及委員会
議事録

日時	平成22年9月9日(木) 14:00～18:00					会場	地盤工学会会議室	
委員長	村田 芳信	○	幹事	原 忠	○	委員	王 林	×
委員	秦 樹一郎	×	委員	伊藤 和也	×	委員	枳尾 健	○
委員	舟橋 景介	○	委員	北田 貴光	×	委員	今井 優輝	○
委員	水野 健太	○	委員	長屋 淳一	○	委員	渡邊 康司	×
委員	野末 康博	○	委員	山川 優樹	○			
事務局	永田 満枝	○						
○:出席 ×:欠席 △:未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料1)
野末委員が指名された。
2. 前回議事録の確認 (資料-1)
前回議事録(7/8渡邊委員担当)が承認された。
3. 第2回事業部会報告(議事録)(7/8) (資料-2)
村田委員長より、第二回事業部会の概要について報告があった。
4. 第4回理事会(7/23)議事録案 (資料-3)
村田委員長より第4回理事会の概要について報告があった。
 - ・ 理事会は報告事項は簡潔にして、学会の今後についての議論を中心に開催された。
 - ・ 書籍のセット販売はいくつかの質疑の後、承認された。
5. 図書出版作業進捗状況 (資料-4)
 - ・ 講習会開催に係る図書のうち、近接施工は近日出版予定、土の締固めならびに地盤工学における性能設計については作業が遅れている。
 - ・ 10月以降に出版される図書の講習会は当年度には実施しないとの記載が追加資料にあるが、明文化されたルールではなく本記載には特に準ずる必要はない。ただし、2～3月の実施など、準備期間・受講者の入りを鑑みて無理な講習会開催は避ける方針とする。
6. 平成22年度講習会収支報告 (資料-5)
7～8月に開催された講習会の収支が報告された。収支内容は以下の通り。

	収入予算(円)	収入実績(円)	支出実績(円)	実績の収支差(円)
やさしい補強土講習会	226,000	390,000	91,752	298,248
地盤の連続体力学講習会	376,000	242,000	208,752	33,248
三軸圧縮試験実技講習会	678,000	718,000	405,910	312,090

平成22年度8月の合計見込みは収入実績(見込み)が4,682,000円、収支差の実績(見込み)が2,284,297円。

- (1)やさしい補強土講習会:参加者が57名と比較的多かった。参加者動員にはチラシの効果があったと考えられる。
- (2)地盤の連続体力学講習会:参加者数は27名でやや少ない。
- (3)三軸圧縮試験実技講習会:参加者は12名で概ね予定通り。

7. 平成22年度開催講習会アンケート集計結果

(資料-6)

(1)やさしい補強土講習会

- ・ アンケートでは若干時間が不足したとの意見があった。次年度の講習会時間の変更についても検討する。
- ・ 講習会ではプロジェクターの接続が途中で外れるハプニングがあり、対策が必要と考えられる。
- ・ 本年度オンデマンド化、講習会のもととなった書籍は絶版でテキストはPP資料のみであるが、需要を考慮して次年度も実施する方針とする。

(2)地盤の連続体力学講習会

- ・ 昨年度まで3日に分けて開催していた講習会を1日で実施した講習会。本件に関しては賛否両論ある。
- ・ アンケート結果では数学的知識がないとやや難しいとの意見が比較的多いが、満足度は高いものとなっている。
- ・ 本講習会のようなアカデミックな内容の講習会を開催する必要性・意義について改めて考える必要がある。
- ・ 受講生のアンケートをうけた講師の意見も今後の参考としたい。事務局から講師に意見聴取のメール依頼を行うこととする。

(3)三軸圧縮試験実技講習会

- ・ 今後もある程度の需要が想定される。参加者は民間会社(地方も含む)・土研・民間会社の研究所等の所属であり、30～40代が多い。参加者の分析をして今後の開催(隔年)の参考とする。

8. オンデマンド講習会WG報告

(資料-7)

- ・ 7月以降2回開催し、問題点の抽出・販促・内規他ルール作りを進めている。
- ・ 内規(案)→後述の審議により承認された。

審議事項

1. 平成22年度技術講習会進捗

(資料-8)(別添資料2)

1) 日時／内容／案内確定 講習会

①「軟弱地盤における地盤変形の実際と解析」講習会 平成22年10月28日(木)

- ・ 昨年度まで実施していた「設計用地盤定数の決め方ー土質ー」講習会を改め、事例を中心に新たに企画

②「建設・産業副産物の地盤工学的有効利用」講習会 平成22年12月8日(水)

- ・ 時間を昨年度より若干短縮した。資料の修正は各講師に依頼済み
- ・ 記載している後援(予定)は講師の方から挙げていただいた関係団体。記載団体への依頼は本委員会で承認した→事務局が各団体に正式に後援の依頼を実施する。

③「地盤工学者のための舗装入門ー基礎から応用までー」講習会 平成22年12月9日(木)

- ・ 記載している後援(予定)は講師の方から挙げていただいた関係団体。記載団体への依頼は本委員会で承認した→事務局が各団体に正式に後援の依頼を実施する。

④「土を固める原理と応用」講習会 平成22年12月13日(月)

- ・ 昨年度のアンケート結果を受けて内容を追加した。
- ・ コースを追記する。

⑤「地盤に関する解析技術(個別要素法)」講習会 平成22年12月20日(月)

- ・ 講習会の経緯を踏まえ、土木学会との共催とする。会費は共催のため、会員4,000円・非会員7,000円とする。学生については事務局から渡邊委員に確認したうえで、対象とする場合は会費を2,000円とする。
- ・ 記載事項修正 「電源に限りが・・・なるべく充電して」→「電源に限りが・・・必ず充電して」
- ・ 土木学会との共催について強調した記載とする。
- ・ PCの電源対応等で問題が発生する可能性があるため、参加者数を先着順で制限する。

⑥「治水水施設の自然災害に対する減災と対策」講習会 平成23年1月7日(金)

- ・ 名称を昨年度から変更した。
- ・ 役所職員(国交省など)に受講をすすめたいが、会費が高いとの意見があった。受講生の動員などで後援をもらい、会費に記載可能であれば、職員の受講者に会費の配慮が可能な可能性がある。→講師の方に役所に本事項について検討していただくよう打診を依頼する。

⑦「はじめて学ぶ土壌・地下水汚染」講習会 平成23年1月31日(月)

2) 調整中の講習会

①「建設工事における環境保全技術講習会」(担当:今井委員)

- ・ 講師調整中

②「模型実験入門」(担当:伊藤委員)

- ・ 講師調整中

③「施工・維持管理に配慮した基礎構造物の計画」(担当:舟橋委員)

- ・ 講師への打診等、これから実施。1～2月開催になる予定。

④「地盤工学における性能設計入門講習会」(担当:原幹事)

- ・ 出版が遅れるため、本年度の開催は不可。次年度の開催を検討。

⑤「基礎構造物の信頼性設計講習会」(担当:舟橋委員)

- ・ 講師調整中で1月開催予定。土研1名の講師が確定していないが、候補者より準備は進めてよいと承諾を得ているため、講師未定で会告を出す予定。講師が確定し次第、会告を差し替える。

⑥「土の締め固めに関する最新技術講習会」(担当:渡邊委員)

- ・ 出版が遅れるため、本年度の開催は困難。出版企画委員会にスケジュールを確認して対応を決定。

3) その他

- ・ 講習会費に関する意見が多くあがるため、土木学会との共催の講習会の動向等も参考とし、次年度以降の会費の設定についても改めて検討していくこととする。
- ・ 会告のフォームが個々の講習会で異なるため、見やすいものに統一する方針とする。事務局から雛形を委員に配布する。
- ・ 「地盤の動的解析－基礎理論から応用まで－」講習会のオンデマンド化は、講師の承諾が得られず中止となった。オンデマンド化についてはWGで本件も含めて検討し、今後のオンデマンド講習会の進め方に反映する。本件をうけ、「治水利水施設の自然災害に対する減災と対策」講習会のオンデマンド化について講師へ打診し、承諾が得られればオンデマンド化を図ることとする。
- ・ オンデマンド化については、現在WGで進め方・ルールを検討中であるが、講師依頼時点で全国に向けて技術普及ができる良い機会であるとのメリットを説明し、承諾が得られるよう進めてほしい。
- ・ オンデマンド講習会内規について追加審議
 - ・ 「技術普及委員会内規」(H14.11.11)と重複する部分、(価格の設定)、(CPDポイントの設定と付与)の項目は削除する。
 - ・ 追加項目、「(内規の変更)この内規は事業部の承認を経て変更する。内規の変更後の効力は事業部の議決のときから発生する。」
 - ・ 加筆項目、「(映像配信の編集)1.講師ならびに事務局は事前に画像を閲覧し、・・・」
 - ・ 削除項目、(前提)1.の「ここで技術普及活動講習会の「D」は、(内規)を指す。」
 - ・ 削除項目、「(その他)1. その他は「オンデマンド講習協働事業契約書」に準拠する。」
- ・ オンデマンド講習会内規の実質運用は理事会承認後とし、現行のオンデマンド講習会の依頼ならびに資料作成依頼については、柔軟に運用する。
- ・ オンデマンド講習会のCPDポイントの付与方法(証明書ならびに申請用紙)を早急に準備(KITへの依頼)するとともに、その説明を入金確認後の返信メールに付加する。
- ・ オンデマンド講習会の配信期間の基本的考え方や配信終了後のコンテンツの再利用などについても、著作権の問題を含めて整備する必要がある。

2. 講習会共催について

(資料-9)

「地盤に関する解析技術(個別要素法)」講習会について、経緯を踏まえて土木学会との共催とする件について承認された。

3. 平成23年度予算について

(資料-10) (別添資料3)

来年度の講習会の開催について、本年までの動向を踏まえて協議した。協議結果はコース区分を追記して事務局より委員に後日配布する。

10月12日を目処に各委員からの意見を集約し、メールにて審議を進め、10月25日予定の委員会で最終調整する。

4. 第46回地盤工学研究発表会（神戸大会）DS等アンケートについて
当委員会関連ではDSの開催は希望しない。

(資料-11)

5. 事業部会への報告・審議事項

報告事項；講習会収支報告、アンケート結果

審議時効；講習会企画案、オンデマンド講習会内規案

次回委員会開催日 平成22年 10月 25 日(月) 15:00～17:00 於:地盤工学会 地階A会議室
次回オンデマンドWG開催日 平成22年 10月 25 日(月) 13:00～15:00 於:地盤工学会 地階A会議室